

続・ふるさと

こぼれ話

伊豆八丈島からの入百姓計画

第51回

文・大谷津忠一

江戸時代は1603年から1867年、15代將軍の徳川慶喜までの約260年間を指す。江戸時代後期(1750～1860年代)になると、北関東を含めた全国の村々が「荒廃する農村」となり、困窮化しつつあった。このような状況を克服するため、幕府によりさまざまな政策が行われた。

宝暦期(1750年代)から天明期(1780年代)の自然災害を簡単な表にした。この表では、下野国を含めた関東一帯で被災のあった国々と、芳賀町の村々であった災害が分かる。風水害はもちろん、日照りや干害、長雨などが目立ち、この時期は災害が頻発していたことがうかがえる。特に天明3年の浅間山の噴火に伴う冷害が、江戸時代の3大飢饉の一つに数えられる天明の飢饉となった。百姓の中には田畑の耕作を怠り、困窮者と偽って江戸に出て日雇い人となる者もいた。この場合でも、農耕の妨げにならぬよう、残った者で田畑を割り振って耕作を行わなければならなかった。

被災年	災害名	被災国	芳賀の被災農村
宝暦11	水害		東水沼村
宝暦13	干・風害		東水沼村
明和7～8	干害		稲毛田村
安永4	水・風害		東水沼村
安永8	水・風害		東水沼村
安永9	長雨	武蔵・上総・下総・上野・下野・常陸	
天明3	浅間山噴火	武蔵・上野・信濃ほか	
天明3～4	冷害		町域一帯
天明6	大風雨	関東一帯	
天明6	水害		東水沼村

丈島からの入百姓計画はその計画の一つで、明和7年から9年の間に実施された。西水沼村に4人、高橋村に4人、三谷村現二宮町に2人の計10人が入百姓となり、代官誓約書が差し出された。

□4月から新しい係長と2人で広報紙を作るようになりました。係長は見るもの聞くこと全てが新鮮なようです。そんな係長を見て、広報担当4年目の私も「初心を忘れてはいけないなあ」と思っています。

□ところで「広報は12月号」が栃木県広報コンクールで奨励賞を受賞しました。なんと4年連続の受賞です。受賞したことは素直にうれしいのですが、気持ちは賞にとらわれることなく、紙面はさらに充実させるべく努力したいと思えます。

■ところで最近、皆さんからの投稿が少なく、寂しい限りです。ご意見やおもしろ話などをお送りくださいね!


(サ)

- 編集 芳賀町広報広聴委員会
☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp
 - 発行 芳賀町企画課
栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地
 - 芳賀町ホームページアドレス
<http://www.town.haga.tochigi.jp>
- 📍芳賀町の携帯サイトはコチラから➡




しまたがしの

芳賀の自然



03
昆虫編-2



ゲンジボタル
甲虫目ホタル科

(写真提供=芳賀町自然に親しむ会)

分布 本州以南
食性 カワニナ(巻き貝)
生息環境 きれいな水辺
大きさ 12～18mm
発生時期 6～7月

国内には約30種のホタルが生息するが、発光するのはごくわずかである。富士山自然公園で行われるホタルの観察会には、毎年多くの家族が参加している。